

みおしえ



五劫思惟の阿弥陀仏
ごこうしゅい

市川陽山謹字


埼玉教区浄土宗青年会
<http://www.saijousei.com>

一人お一人が元気に、楽しく、笑顔で日々お過ごし頂くといいことです。

皆様の幸せを願わないご先祖様はいらっしゃいません。皆様のことをお浄土からいつも見守って下さっているご先祖様だからこそ、皆様の幸せそうな笑顔をお見せしてお浄土で安心して過ごして頂くことが何よりものご供養でございます。

時には、「毎日つまらない」「何も良いことがない」

「生きている意味がない」そんな悲しい言葉をテレビ等で耳にします。私のお寺に定期的に張り替える掲示板がございますが、こんな言葉がございました。

『生まれてきたくて生まれてきたわけじゃないと言うが、私達のお預かりしているこの命は、生まれてきて生まれてきたに違いない』

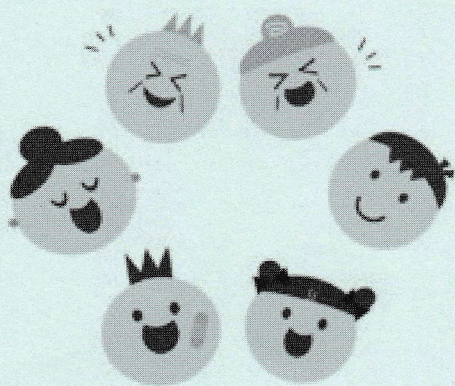
ご先祖様やご両親から頂いた私達のこの大切な命を、自分自身が邪見に扱うなどもつてのほかです。

どうぞ皆様、これからお浄土にいらっしゃるご先祖様や有縁の方々に想いを寄せ、日々お念仏に励

んで頂けたら大変有り難いことに存じます。そしていつの日か阿弥陀様のお迎えがきた時には、胸を張って極楽浄土で先立たれた方々と再会出来るよう、元気に力強く、お一人お一人が幸せに日々お過ごし頂けますようお願いしております。

合掌

執筆 崇蓮寺 池田 真常



表紙の解説（五劫思惟の阿弥陀仏）

表紙の変わった髪型をされた仏様をご覧になられたことはあるでしょうか。この仏様は、みなさんが良くご存じの浄土宗のご本尊である阿弥陀仏なのです。「私の知っている阿弥陀仏はこんな姿ではない」と言われる方もいることでしょう。そう思われるのも無理はありません。「五劫思惟の阿弥陀仏」と呼ばれていて、正確に言えば「ほとけ」になられる前のお姿なのです。阿弥陀仏もいきなり「ほとけ」になられたわけではなく、修行者（菩薩）であった時があるのです。「浄土三部経」のなかの『無量寿経』というお経には、法蔵菩薩と呼ばれていた修行時代に、師である世自在王仏に悩み苦しむ人々をなんとかして救いたいと願い、五劫とよばれる想像を絶するとても長い間、思惟されたとあります。その気の遠くなるような時間、思案に思案を重ねた結果、髪の毛（螺髪）が伸びこのような頭になられたのです。私たちがお念仏を称えることによつて極楽浄土に往生させて頂けるのも、阿弥陀仏がこのように思惟し、四十八の願いをおこし、それを成就する為に厳しい修行を積まれた結果なのです。アフロヘアとかおかつぱ頭とか言われてしまうようなユニモラスなお姿ですが、とてもありがたいお姿なのです。京都にある浄土宗の大本山金戒光明寺や奈良の東大寺でご覧になりますので是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

台掌

解説執筆

西福寺

久住大樹

わたしたち「埼玉浄青」

私たち埼玉教区浄土宗青年会は、埼玉教区の若手僧侶六十九名で活動している会です。私たちの主な活動内容を紹介いたします。

○僧侶としての研鑽

月例勉強会を開催し、浄土宗の教えや儀礼、お説教などの勉強をして、僧侶としての研鑽に励んでいます。

○浄土宗の教えを伝えさせていただく活動

浄土宗の教えをお檀家の皆様に伝えさせていたくため、「みおしえ」を発行しています。

○六時礼讃会の開催

毎年秋に六時礼讃会を開催しています。皆様とご一緒に一日に六回の法要を勤めさせていただき、お札をお申し込み頂いた方のご先祖様並びに大切な方々のご供養をさせていただきます。

○社会貢献活動

托鉢や六時礼讃会等を通じ、災害地への金銭的支援をはじめボランティア活動もしております。また、月例勉強会では救急救命法等も学び、もしもの時に役立てるよう努めております。



発行 埼玉教区浄土宗青年会

会 長 赤羽海衆

広報編集局長 齊藤宏賢

無断複写を禁止します